

## 製造間接費 第5問 問題

当工場では、機械作業時間を配賦基準として製造間接費を配賦している。次の資料にもとづいて、(1) 実際配賦をする場合と (2) 予定配賦をする場合について、配賦額を計算しなさい。また、(2) の場合については、製造間接費配賦差異も計算し、製造間接費勘定に記入しなさい。

(資料) ① 当月の実際機械作業時間

製造指図書	No. 10	2,800	時間
	No. 11	1,800	
	No. 12	1,400	
実際機械作業時間合計		6,000	時間

- ② 製造間接費実際発生額は 780,000 円であった。  
 ③ 月間の予定機械作業時間は 6,500 時間である。  
 ④ 基準操業度における製造間接費予算額は、832,000 円である。

(単位：円)

	製造間接費配賦額				製造間接費 配賦差異
	製造指図書			合計	
	No. 10	No. 11	No. 12		
実際配賦					—
予定配賦					( )

(注) ( ) には、「借」または「貸」と記入すること。

製造間接費 (単位：円)

実際発生額 ( )	予定配賦額 ( )
配賦差異 ( )	配賦差異 ( )

(注) 配賦差異のうち不要なものについては「—」を記入すること。

# 製造間接費 第5問 模範解答

(単位：円)

	製造間接費配賦額			合計	製造間接費 配賦差異
	製造指図書				
	No. 10	No. 11	No. 12		
実際配賦	364,000	234,000	182,000	780,000	—
予定配賦	358,400	230,400	179,200	768,000	12,000 (借)

## 製造間接費

(単位：円)

実際発生額 ( 780,000 )	予定配賦額 ( 768,000 )
配賦差異 ( — )	配賦差異 ( 12,000 )

### 【解説】

#### (1) 実際配賦

$$\text{No.10} ; \frac{780,000 \text{ 円}}{6,000 \text{ 時間}} \times 2,800 \text{ 時間} = 364,000 \text{ 円}$$

$$\text{No.11} ; \frac{780,000 \text{ 円}}{6,000 \text{ 時間}} \times 1,800 \text{ 時間} = 234,000 \text{ 円}$$

$$\text{No.12} ; \frac{780,000 \text{ 円}}{6,000 \text{ 時間}} \times 1,400 \text{ 時間} = 182,000 \text{ 円}$$

#### (2) 予定配賦

$$\text{予定配賦率} ; 832,000 \text{ 円} \div 6,500 \text{ 時間} = 128 \text{ 円/時間}$$

予定配賦額

$$\text{No.10} ; 128 \text{ 円/時間} \times 2,800 \text{ 時間} = 358,400 \text{ 円}$$

$$\text{No.11} ; 128 \text{ 円/時間} \times 1,800 \text{ 時間} = 230,400 \text{ 円}$$

$$\text{No.12} ; 128 \text{ 円/時間} \times 1,400 \text{ 時間} = 179,200 \text{ 円}$$

$$\text{予定配賦額合計} \quad \underline{\underline{768,000 \text{ 円}}}$$